

令和3年6月三田市議会定例会(第361回)一般質問発言通告一覧

(第2日・6月17日 個人質問)

2番 水元 サユミ <一問一答>

- 1 公立幼稚園の再編について
 - (1) 地域から幼稚園を統廃合して欲しいとの声があったのか。
 - (2) 移住促進により今後は農村地域でも子育て世代の人口が増えることが考えられる。地域に幼稚園を残すべきではないのか。
 - (3) 今定例会の冒頭、市長提案説明に「これまで農村地域においては、多様な保育ニーズに対応できる就学前教育・保育施設が十分ではありませんでした」とあったが、対象地域の幼稚園を多様な保育ニーズに対応できる「認定こども園化」等の検討はしたのか。
- 2 (仮称)人権を尊重し多様性を認め合う共生社会を目指す条例について
 - (1) なぜ「(仮称)三田市人と人との共生条例」から「(仮称)人権を尊重し多様性を認め合う共生社会を目指す条例」へと名称が変更されたのか。
 - (2) 「人権」という文言が入ることで条例の定義は広がるのではないか。
 - (3) 憲法によって個々の人権は保障されている。あえて条例化する必要はないのではないか。
- 3 障害者施設の課題について
 - (1) コロナ禍でイベントがなくなりバザー等が出来ないため、事業所として利用者に今までのように工賃が払えなくなっている。今後もイベント等の開催においての制限が考えられるが、物品販売先として販路開拓など市の協力はできないか。
 - (2) 障害者の住まいや作業所などについて利用者が増加傾向にあり、いわゆる居場所の確保が継続的な課題になっているとの認識であるが、市はどのように取り組もうとしているのか。
 - (3) 障害者施設でのワクチン接種についてはどのように計画されているのか。

4番 福田 佳則 <一問一答>

- 1 G I G Aスクール構想における今後の課題対策について
 - (1) オンライン授業実施にむけての諸課題について。
 - (2) 教員のICT活用指導力向上への取り組みについて。
 - (3) タブレット導入後の学習環境整備について。
- 2 ウィズコロナでの高齢者支援について
 - (1) 「デジタル格差」解消に向けた高齢者へのサポートについて。
 - (2) 高齢者の孤立対策について。
- 3 災害時における避難所の運営について
 - (1) 市における「福祉避難所」の現状と避難行動要支援者の「個別避難計画」について。
 - (2) 「避難所」における新型コロナウイルスを含む感染症対策について。

11番 肥後 淳三 <一問一答>

- 1 三田市障害福祉計画等サービスの充実について
 - (1) 第6期三田市障害福祉計画・第2期三田市障害児福祉計画の内容について伺います。
 - (ア) 生活介護等と放課後等デイサービスの利用者見込み量について伺います。
 - (イ) 生活介護等と放課後等デイサービスの充実について伺います。
- 2 介護従事者の雇用の確保に向けた取り組みについて
 - (1) 介護従事者の雇用の確保に向けた取り組みについて伺います。
 - (ア) 厚生労働省では、介護職員処遇改善加算を実施し、介護職員の社会的・経済的な評価を高め、介護事業所の持続的な雇用の確保に乗り出してきていますが、三田市内の介護従事者の雇用実態について伺います。
 - (イ) 三田市では、令和3年度予算で介護人材養成支援事業により資格習得を促し介護従事者の研修費用等の一部補助で職員の雇用の確保に繋げようとしています。事業者の制度に対する認知度とその評価について伺います。
 - (ウ) 保育士確保等の制度に比較して介護職員確保に向けた取り組みがあまり見受けられません。三田市独自の制度として新任介護職員確保に向けた家賃補助制度等の新たな取り組みはできないものでしょうか。
- 3 カルチャータウンのまちづくりについて
 - (1) カルチャータウンのまちづくりの展望について伺います。
 - (ア) 三田市民病院と済生会兵庫県病院との再編、集約化も視野に入れた検討会が立ち上がりました。学園1丁目には、平成26年3月から太陽光発電所が設置されていますが、その場所に、再編・集約化された病院を誘致しては如何でしょうか。

13番 長尾 明憲 <一問一答>

- 1 三田市民病院再編・集約化における問題について
 - (1) コロナ禍で病床不足が言われる中、神戸・阪神北圏域は病床過剰地域になっていると病床削減を前提とすることの問題。
 - (2) 医師の集約によって過重負担になる恐れについてどう考えるのか。
 - (3) 市民が求めるニーズをどのように考えているのか。
 - (4) 市民の声をどのように反映していくのか。
 - (5) 仮に統合となった場合、すべての負担を三田市が負うことになるのではないか。
- 2 コロナ陽性者の自宅療養という新たな状態によって発覚した問題点の把握と課題の解決について
 - (1) 市として自宅療養者の状態把握と支援をどこまで行えたのか。
 - (2) 自宅療養者を含め感染者の状況を把握するためにも三田市内に保健所の再設置が必要ではないか。

14番 佐貫 尚子 <一問一答>

- 1 極端な偏食を抱え、食を困難とする園児の給食時の対応について
 - (1) 食べる意欲や楽しさ等、成長期にある園児の食について。
 - (2) 食を困難とし、感覚過敏やこだわりの強い園児の給食時の対応について。
 - (3) 教職員の理解と対応について。
 - (4) 園と保護者との情報共有について。

- 2 家族の介護や世話を日常的に行うヤングケアラーの現状と支援について
 - (1) 今年4月に国が実施し、報告されたヤングケアラー実態調査について。
 - (2) 三田市のヤングケアラーの現状把握と支援の必要性の認識について。
 - (3) 実態が把握しにくい状況の中、潜在的なヤングケアラーを見つけ出す為の方策について。
- 3 道路・公園に関わる修繕、維持管理について。
 - (1) 今年、1月から運用開始の道路、公園の不具合通報システムの運用状況について。
 - (2) 道路の陥没、ひび割れ、白線表示の劣化等の修繕計画について。
 - (3) 市内の交差点や分離帯等、視距確保すべき箇所の認識について。

12番 大西 雅子 <一問一答>

- 1 ヤングケアラー対策について
 - (1) 早期の気づき対策としてアンケート調査等実施されているが、この実施により、どのような支援に結びつけることができたのか、その成果と今後の展開を伺う。
 - (2) 18歳を過ぎても様々な影響が残るヤングケアラー、就学や就職への影響をどのように捉えているのか。
 - (3) 子どもの人権を守るための対策を、今後どのように進めていくのか、市の見解を伺う。
- 2 多文化共生社会に向けた取り組みについて
 - (1) 市としての「やさしい日本語」の普及啓発への取り組みを伺う。
 - (2) 三田市在住外国人は、どのような存在であるのか、市の見解を伺う。
 - (3) 地域活性化に向けた取り組みについて、三田市住民の一員として、三田市在住外国人の参画推進をどのように考えているのか。
- 3 子育て支援について
 - (1) 現在、実施している多胎児支援事業について、家庭への負担をどのように捉えているのか、市の見解を伺う。
 - (2) 「子ども・子育て応援のまち三田」として、一人ひとりに寄り添う支援策への考えを伺う。